

# ISO/IEC/JIS Plastics

## 事務局便り 2016 年 11 月

### ISO/TC 61/SC 2(機械的性質)分野の最近の動向

ISO/TC61/SC2 は、プラスチックの機械的性質の試験方法に関する規格の制定・改正を担当し、現在までに 69 の規格を発行し、10 のプロジェクト（規格開発）が進行中である。SC2 傘下で活動中の作業部会（WG）を第 1 表に示す。なお、WG6 および WG8 は、SC9 国内委員会が担当しているので、本稿では取り上げない。

第 1 表 TC61/SC2 の WG

WG	コンビナー	名称
1	ドイツ	静的力学特性
2	マレーシア	硬度および表面特性
3	アメリカ	耐衝撃性
4	アメリカ	動的力学特性
5	イギリス	温度依存性
6	ドイツ	試験片寸法
7	韓国	疲労および破壊靱性
8	アメリカ	データの標記方法

\* 幹事国：中国，議長：韓国

2016 年 9 月 19 日～23 日に、ドイツのベルリンにて第 65 回 TC61 国際会議（年次大会）が開催される。SC2 関係では各 WG の会議および SC2 全体会議が開催予定である。本稿では、国際会議での議論予定を中心に TC61/SC2 の最近の動向について WG 別に概要を報告する。

#### 1. 静的力学特性（WG 1）

**ISO/CD 178**（曲げ特性の求め方）：日本は、コメント付で反対投票をした。5 カ国からコメント投票されたので、その内容について国際会議で審議する。

**ISO 899-1**（クリープ特性の求め方ー引張クリープ）の定期見直しは、確認で投票した。国際投票結果は、確認の予定である。

日本から、「油圧式高速引張」に関する規格開発において、規格化実現可能性の技術的な調査を実施し、国際会議で報告する。予備提案段階への登録を予定する。

#### 2. 硬度および表面特性（WG 2）

**ISO/CD 19278**（計装化押し込み硬さの試験方法）：CD 投票の結果、賛成 2/3 以上であり、コンセンサスが得られたので、次段階に進む予定である。コメントに関する対応を国際会議で審議する。

**ISO/NP 20329**（往復平面磨耗試験）：NP 投票の結果、賛成過半数、エキスパート登録が 5 カ国

となり、規格開発をスタートすることになった。投票時のコメントについて、国際会議で審議する。  
ISO 19252 の定期見直しは、確認で投票した。国際投票結果は、確認の予定である。

### 3. 耐衝撃性 (WG 3)

ISO 180 の定期見直しは、確認で投票した。国際投票結果は、確認の予定である。

### 4. 動的機械特性 (WG 4)

本 WG は、開発案件がないため、休止となっていたが、定期見直しが 6 件ある。ISO 6721 のパート 1,2,4,5,6,7 の定期見直し結果の審議は何らかの形で、SC2 の国際会議の中で行なわれることとなる。

### 5. 温度依存特性 (WG 5)

ISO 458-1 および ISO 458-2 の定期見直しは、確認で投票した。国際投票結果は、確認の予定である。

### 6. 疲労および破壊靱性 (WG 7)

**ISO/CD 18485** (接着された柔軟なラミネート材の剥離試験による破壊靱性の求め方) : CD 投票が行われ、コンセンサスが得られた。次段階に進む予定である。

ISO/NP 21705 については、イタリアから再度提案があり、NP 投票が行われた。日本は、棄権で投票した。賛成過半数であったが、エキスパート国が 4 カ国で未達であった。今後の進め方を国際会議で審議する。

ISO/DIS 13586 および ISO/DIS 17281 の 2 件は、日本からのコメントが取り入れられた形での改訂となるので、賛成投票をした。結果について、国際会議で審議される。

以上